

「新型コロナウイルス感染予防対応競技会」開催ガイドライン（改訂 第3版）

新型コロナウイルスの感染状況が未だに落ち着きを見せず、さらに変異型ウイルスの感染拡大の恐れも予想され、感染予防対策の手を休めることができません。

このような状況下において、三密対策、マスク着用、手指消毒や手洗い、密集防止策等、これらは今後も継続する必要があります。

2022 年3月 17 日付けで、内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室長より「基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について」が発表され、これに基づき、新たな競技会運営方法を検討し「新型コロナウイルス感染予防対応競技会」の開催ガイドライン改訂第3版を作成しました。（変更点は下線部分。詳細内容は添付資料参照）

主催団体は、競技会の開催にあたり、関係省庁、上部団体、自治体等の新型コロナウイルス感染予防対策、さらに施設会場の使用条件を遵守し、下記開催ガイドラインに留意して開催してください。

尚、このガイドラインは、関係省庁、上部団体、自治体等のガイドラインや情報を基に作成しております。ガイドラインや情報は随時更新されますので、主催団体におかれましては、最新の感染予防対策の情報と施設の使用規定に基づき、地域の状況に応じた競技会を、感染予防の自覚と責任を持って開催してください。

新型コロナウイルス感染予防 基本対策4項目

- 1, 三密状態(密閉、密集、密接)排除 定期的な室内換気。使用人数制限遵守。密集防止策の工夫。
- 2, 接触対策 こまめな手指消毒と手洗い。接触部分の定期的消毒等の対応。
- 3, 飛沫感染対策 不織布マスクの着用。透明ビニールスクリーン等での飛沫拡散防止策。
- 4, 体調管理 当日朝の入館者の健康チェックシート回収。入館前の体調確認と入場制限の対応。

具体的取り組み

大会役員、競技出場者で基礎疾患や重大な持病がある場合、新型コロナ感染に強い不安がある場合、又、当日の健康観察で異常が出た場合は、十分に考慮され、参加の取りやめをお勧めします。「選手1カップルは一人格と捉え、競技出場に際しては、常日頃から感染予防に努め、他の人とは組まない特定カップルである」としますが、施設の利用規定には従ってください。

I、大会主催者が遵守すること

1、施設会場等の新型コロナ感染対策の利用規則を最優先し、感染予防基本対策4項目を遵守する

- ①施設会場の利用規則に従い、事前打ち合わせを充分行って下さい。
- ②三密状態排除の具体的対策を検討実施する。
- ③手指消毒剤の設置とこまめな手洗いを促す案内。
- ④入館者の不織布マスク着用(選手、役員も着用のこと)。マスク着用で対人距離1m程度の間隔を確保。
- ⑤健康チェックシートの記入と提出(当日の朝に役員、審判員、選手等、入館者全員に提出を求める)
 - ・健康チェックシートはシラバスに添付すること。
 - JDSF ホームページからもダウンロード可。又は所属加盟団体より写しを取り寄せる。
 - ・大会当日朝に記入して、選手受付や大会責任者に提出する。(チェックシートは個人情報保護に充分留意し、最低1ヶ月は責任者が保存し、不要となった時点で責任をもって処分すること)
- ⑥大会終了後10日以内に感染者が発生した場合、自治体の関係部署と参加者、所属団体に報告連絡する。

2、シラバス記載内容（地域の状況に応じた感染予防対策を記載し、通常と異なる内容を明記する）

- ①新型コロナウイルス感染予防対策や各種制約遵守等を明記する。
- ②収容人数の制限。（設置自治体や体育館管理者からの指示が最優先されます。）
 - ・有観客、無観客に限らず、体育館の人数制限指示を遵守する。
 - ・使用人数が少なければ、無観客の場合もあり、制限内であるのなら有観客もあると考えます。
- ③エントリー申込み。（申込み期間の限定や人数制限がある場合、抽選又は先着順等を表記する）
- ④接触回避を図るために練習時間や方法を工夫する。（練習タイムなしや少人数での実施を考慮する）

3、競技会運営上での感染予防と接触回避の工夫

- ①スタッフ対応人数。感染予防のための定期的巡回と必要箇所の消毒、確認チェックシートの作成と記入。
- ②選手受付の三密対策の工夫と方法を考慮する。状況に応じて、入館時の体温チェックと手指消毒の実施。
- ③選手控えスペースの密集防止策。定期的な換気を工夫する。食事の取り方（場所や順番等）
 - ・大会開催地域により感染度合いが異なり、その対策はその地域の状況により対応する。
 - ・定期的換気の頻度もそれにより求められると考えられ、一律に30分に5分の換気にとられない。また、担当者が忘れることもあるので、気がつかれた段階で助言も必要と考えられる。
- ④入退場の一方通行等、人の密集を避ける流れを検討し実施する。
- ⑤審判員の不織布マスク着用。
- ⑥採点集計、接触回避の工夫。（リアルシステムの活用等）
- ⑦競技結果のスマホ表示の活用、結果掲示や案内表示、アナウンス等などの工夫をする。
- ⑧表彰式、接触回避の工夫。（賞状順次手渡しのみ等）

Ⅱ、出場選手が遵守すること

1、感染予防対策、施設会場等の利用規則や制限を遵守する

- ①下記の項目に該当する場合は、出場することはできない。
 - ・直近に海外渡航経験がある場合や本人、同居家族等、知人に感染者や感染の疑いがある場合。
 - ・健康チェックシートの発熱等の異常欄に該当する項目がある場合。
- ②競技会終了後10日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、速やかに競技会主催団体と所属団体に報告すること。
- ③関係省庁、上部団体、自治体、施設会場、及びJDSFの感染予防対策やガイドラインを遵守する。

2、大会当日に守るべきこと

- ① 当日の朝にチェックシートの発熱等の異常欄に該当する項目がある場合、出場を断念し参加しない。
- ② チェックシートは、各個人が当日朝に記入し、受付時に提出する。
- ③ 新型コロナウイルス感染予防基本対策の4項目は、常に意識し、遵守すること。
- ④ 主催者が決めた指示内容を遵守協力し、感染防止に努める。（守れない場合は施設退館もありうる）
- ⑤ 競技中も原則マスク着用を義務とするが、外すことが可能な時は感染予防を踏まえ、自己管理とする。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染防止のため、ペットボトルの空容器や食べ残し等は、必ず家まで持ち帰ること。

【濃厚接触者の定義】

感染可能期間(発症2日前等)に接触し、次の範囲に該当する方

- ① マスク無しで、対面で手が触れる距離(1メートル以内)に15分以上一緒にいた
- ② 同居あるいは長時間の接触(車内、航空機内等を含む)があった
- ③ 感染者の痰や体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い

添付資料：詳細内容の確認先 URL 一覧

以上

本件の問合せと連絡先：

(公社)日本ダンススポーツ連盟 TEL 03-6457-1850 FAX 03-6457-1857
E-mail kaiin.information@jdsf.or.jp
山口競技本部長 蒲生競技部長 大塚管理部長